

SS3000 操作マニュアル

第6版 平成27年9月12日

目次

| | |
|---|----|
| 1. はじめに..... | 1 |
| 2. バイパス機能に関して..... | 2 |
| 3. ランプ表示について..... | 3 |
| 4. 管理設定画面へのログイン | 5 |
| 5. 管理設定画面について..... | 9 |
| 5.1. 画面上部のメニューについて..... | 9 |
| 5.1.1. 設定データを保存するには..... | 10 |
| 5.1.2. 設定データをエクスポートするには..... | 11 |
| 5.1.3. ログデータをエクスポートするには..... | 11 |
| 5.1.4. ヘルプを確認するには..... | 12 |
| 5.1.5. 管理設定画面の背景色を変えるには..... | 13 |
| 5.1.6. 表示言語を変えるには..... | 14 |
| 5.1.7. 装置を再起動するには..... | 15 |
| 5.1.8. ログアウトするには..... | 16 |
| 6. 管理設定画面の操作について | 17 |
| 6.1. メニュー構成..... | 17 |
| 6.2. 左のメニューバーについて..... | 18 |
| 6.3. 上のメニューバーについて..... | 19 |
| 6.4. アイコンについて..... | 19 |
| 6.5. 設定画面内の操作について..... | 20 |
| 7. システムの状態を確認するには..... | 21 |
| 8. 日付・時刻を設定するには | 23 |
| 8.1. タイムゾーンを設定する場合..... | 24 |
| 8.2. 日付・時刻をホスト PC と同期させる場合..... | 24 |
| 8.3. 手動で日付・時刻を設定する場合 | 25 |
| 8.4. クロックサーバー（NTP）を使用して自動で日付・時刻を設定する場合..... | 26 |
| 9. 管理者ユーザーのパスワードを変更するには..... | 27 |
| 10. 設定データのバックアップ/リストアを行うには | 29 |
| 10.1. 設定データのバックアップ（エクスポート）..... | 29 |
| 10.2. 設定データのリストア（インポート）..... | 30 |
| 11. システム設定ファイルを初期化する場合..... | 31 |

| | |
|---|----|
| 11.1. 管理設定画面から行う場合 | 31 |
| 11.2. INIT スイッチを使用する場合..... | 34 |
| 12. ウィルスを検知した時のメッセージを変更するには | 35 |
| 12.1. メール受信時や FTP 通信中のメッセージを変更する場合..... | 35 |
| 12.2. Web アクセス時に表示されるメッセージを変更する場合 | 37 |
| 13. スпамメールの件名タグを変更するには..... | 39 |
| 14. 特定の相手からのメールをスパム判定させないためには..... | 40 |
| 15. WiFi 自動設定を行うには (Pro モデルのみ) | 43 |
| 16. 記載されていない項目に関して | 44 |

1. はじめに

本資料では本装置の基本的な操作方法について説明します。

本装置はウィザード設定が完了したタイミングで、AV・AS・IPS が動作するように設定されています。本資料では上記設定をそのまま使用されることを前提に、設定手順を説明します。

ご注意

- ブラウザによって、一部の画面表示が手順書と異なる場合があります。
- ブラウザによって、変更内容がキャッシュに残り、画面の更新が正しく行われない場合があります。そのような場合は、キャッシュのクリアを行い、画面の再読み込みを行ってください。
- ブラウザから設定を行う際、画面の解像度によっては、スクロールバーが正常に表示されないことがあります。その場合、ウィンドウサイズの変更を行うか、マウスの操作によってスクロールを行ってください。
- ご使用になるブラウザによっては、ローカルエリアネットワークのプロキシサーバへの参照設定が行われている場合、本装置の設定画面にアクセスができないことがあります。
その場合、本装置のメンテナンス用ポート（LAN3）を使用した設定画面アドレス（初期値：<https://10.1.5.254:8889>）にはプロキシを使用しないように例外アドレスとして設定するか、本装置の管理設定画面にアクセスする際は一時的にプロキシ設定を解除する必要があります。
- 本書の設定は Windows7 SP1、Internet Explorer 9 で行っています。環境によって表示が異なる場合があります。
- 新規作成 ボタン押下時に、設定画面が別ウィンドウで開かれる場合があります。その場合、 ボタンを押下するごとに、新しいウィンドウが開かれますので、ご注意ください。
- URL フィルタリングのカテゴリ分類は、存在しているすべてのサイト/ページについてカテゴリ分類が行われていることを保証するものではありません。

<推奨環境>

本装置の設定には以下の環境を推奨します。

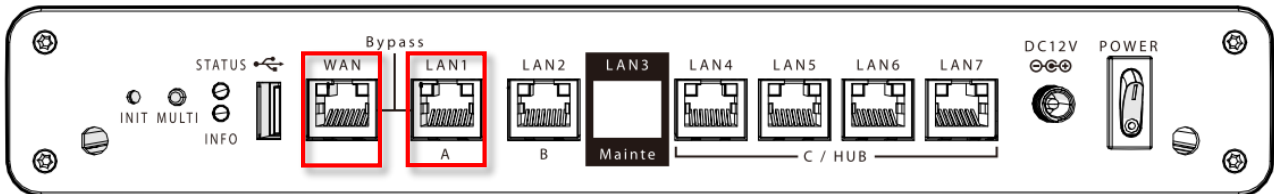
| OS | Internet Explorer |
|---------------------------------|-------------------|
| Windows Vista SP2 (32bit 版) | 9.0 |
| Windows 7 SP1 (32bit 版/64bit 版) | 9.0、10.0、11.0 |
| Windows 8 (32bit 版/64bit 版) | 10.0 |
| Windows 8.1 (32bit 版/64bit 版) | 11.0 |

- Windows 8 Internet Explorer 10.0 および Windows 8.1 Internet Explorer 11.0 は、必ずデスクトップ画面から起動してください。
- スタート画面から起動する Internet Explorer 10.0/11.0 は、推奨環境の対象外です。

2. バイパス機能に関して

本装置にはバイパス機能が実装されています。

本装置の電源を切ることにより、WAN ポートと LAN1 ポートが直接接続され、LAN1 ポート配下の PC が上位のルーター等に直接接続される状態となります。



ご注意

- WAN ポートとバイパスされるポートは LAN1 ポートのみとなります。
- 複数台の PC が接続されている環境で、バイパス機能を使用する場合は、LAN1 ポートに HUB を接続してお使いください。
- 本装置のルーター機能を使用（ミクストモードで運用）している場合は、LAN1 ポートを使用しないことを推奨します。

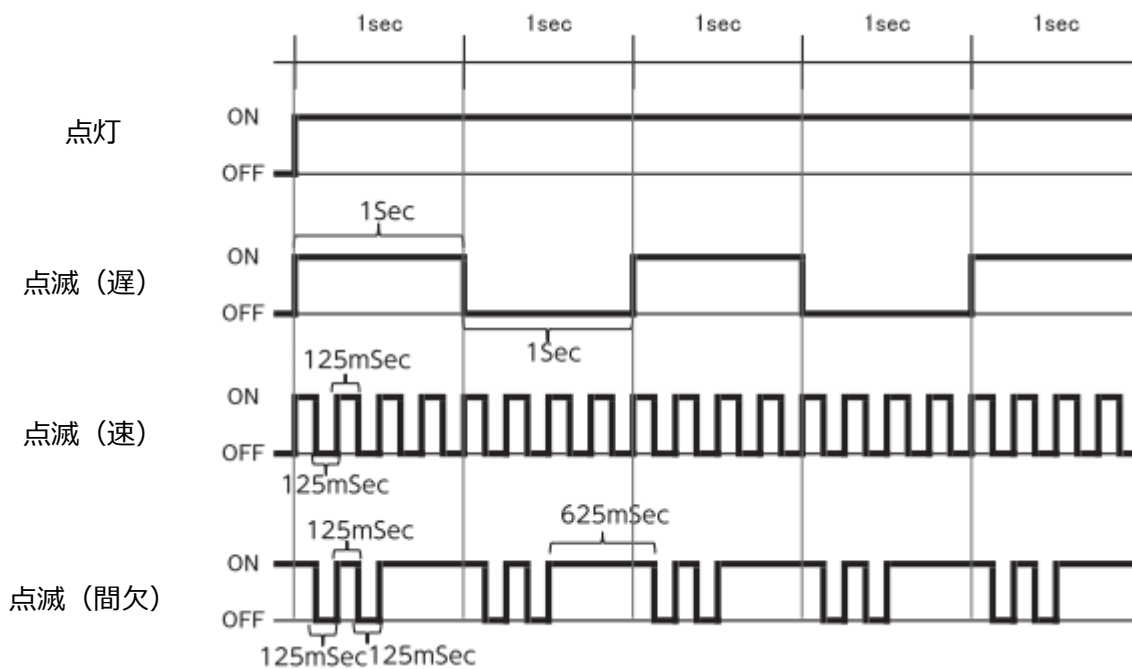
3. ランプ表示について

<ランプ表示>

| 状態 | POWER (緑) | STATUS (緑) | INFO (橙) |
|----------------------------|-----------|------------|----------|
| 電源投入前 | 消灯 | 消灯 | 消灯 |
| 電源投入後 | 点灯 | 消灯 | 消灯 |
| システム起動中 (INIT スイッチ受付可能) | 点灯 | 点滅 (遅) | 消灯 |
| システム起動中 | 点灯 | 点滅 (速) | 消灯 |
| システム起動完了 (アクティベーションなし) | 点灯 | 消灯 | 点灯 |
| システム起動完了 (アクティベーションあり) | 点灯 | 点灯 | 点灯 |
| 設定初期化中 | 点灯 | 点滅 (速) | 点滅 (速) |
| WiFi 自動設定中 | 点灯 | ※ | 点滅 (遅) |
| プログラム更新中 | 点灯 | 点滅 (速) | 点滅 (速) |
| 装置異常 | 点灯 | 点滅 (間欠) | 点滅 (間欠) |

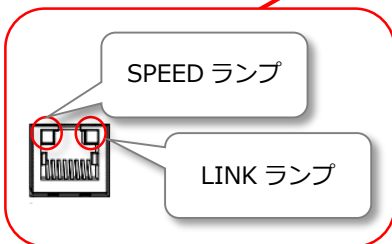
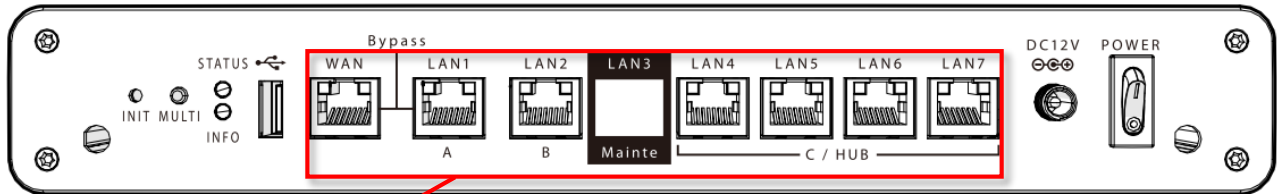
※ WiFi 自動設定前の状態から変化なし

<ランプ点滅パターン>



<SPEED ランプ状態と LINK ランプ状態の詳細>

WAN、LAN1～LAN7 ポートの SPEED ランプと LINK ランプについて説明します。



| SPEED ランプ状態 | WAN/LAN ポートの状態 |
|-------------|------------------|
| 消灯 | 未接続 |
| 消灯 | 接続状態 (10M 動作時) |
| 消灯 | 接続状態 (100M 動作時) |
| 点灯 (橙) | 接続状態 (1000M 動作時) |

| LINK ランプ状態 | WAN/LAN ポートの状態 |
|------------|----------------|
| 消灯 | 未接続 |
| 点灯 (緑) | 接続状態 |
| 点滅 (緑) | 通信中 |

4. 管理設定画面へのログイン

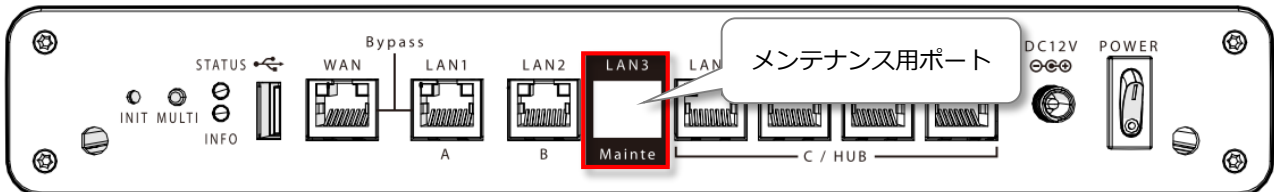
本装置の設定を行うために、ブラウザから管理設定画面にアクセスし、ログインする方法を説明します。

<工場出荷時の設定内容>

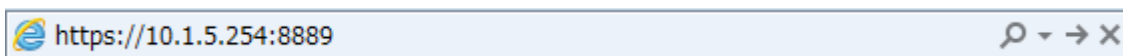
| | |
|-----------------------|-------------------------|
| IP アドレス (メンテナンス用ポート) | 10.1.5.254 |
| サブネットマスク (メンテナンス用ポート) | 24 (255.255.255.0) |
| 管理設定画面 URL | https://10.1.5.254:8889 |
| 管理設定画面アカウント | administrator |
| 管理設定画面パスワード | utm@inst |

- ① 本装置のメンテナンス用ポート (LAN3) の、デフォルト IP アドレスは「10.1.5.254」です。
設定用 PC の IP アドレスを 10.1.5.0/24 のネットワークに含まれるように設定 (例 : 10.1.5.200/24) するか、IP アドレスを自動的に取得するように設定 (DHCP クライアント) してください。
※ メンテナンス用ポートは、デフォルトで DHCP サーバーが動作しています。

- ② 設定用 PC の LAN ケーブルを、本装置のメンテナンス用ポートに接続します。



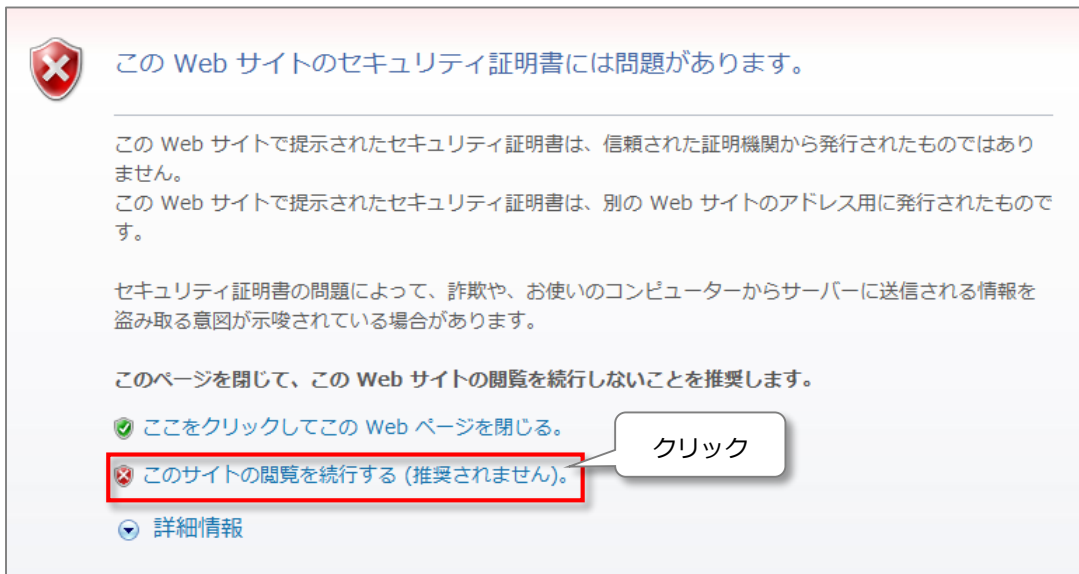
- ③ 設定用 PC でブラウザを立ち上げ、アドレスバーに『https://10.1.5.254:8889』と入力してください。



ワンポイント

- メンテナンス用ポート (LAN3) 以外のポートからも、管理設定画面にアクセスする事ができます。その場合は、アドレスバーに『https://本装置の IP アドレス:8889』と入力してください。

- ④ 画面上に「セキュリティ証明書」が表示された場合、『このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。』を選択してください。選択後、ログイン画面が表示されます。



A security warning dialog box with a red shield icon containing a white 'X'. The text inside the dialog is as follows:

この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。

この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、信頼された証明機関から発行されたものではありません。
この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、別の Web サイトのアドレス用に発行されたものです。

セキュリティ証明書の問題によって、詐欺や、お使いのコンピューターからサーバーに送信される情報を盗み取る意図が示唆されている場合があります。

このページを閉じて、この Web サイトの閲覧を続行しないことを推奨します。

ここをクリックしてこの Web ページを閉じる。
 このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。
 詳細情報

A callout box labeled "クリック" (Click) points to the "このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)" option, which is highlighted with a red border.

- ⑤ ログイン画面が表示されます。



A login screen titled "ログイン" (Login) with a logo of four dots. It contains the following fields and buttons:

アカウント:

パスワード:

検証番号: [新しい検証番号を表示](#)

ログイン

- ⑥ 「パスワード」に『utm@inst』を入力します。
- ⑦ 「検証番号」に表示されている4桁の英数字を入力して **ログイン** ボタンをクリックします。

The screenshot shows a login form titled "ログイン" (Login). The "アカウント:" (Account) field contains "administrator". The "パスワード:" (Password) field contains "utm@inst". Below the password field, a verification code "I4T6" is displayed in a red box, with a callout box stating "表示されている4桁の英数字を入力" (Enter the 4-digit alphanumeric code displayed). To the right of the code, there is a blue link "新しい検証番号を表示" (Show new verification number) with a callout box saying "クリック" (Click). At the bottom, there are two buttons: "ログイン" (Login) in a red box with a callout box saying "クリック" (Click), and "閉じる" (Close).

- ※ 「[新しい検証番号を表示](#)」をクリックすることで、新しい4桁の英数字が表示されます。
- ※ 検証番号は小文字で入力することも可能です。

⑧ 管理設定画面のトップページが表示されます。

The screenshot displays the management interface for the SS3000 device. The interface is organized into several sections:

- System Information (システム情報):**
 - ID: b8b7a7c0df54fd67
 - 起動時間: 2014/10/13 17:00:18
 - システム日付: 2014/10/13 18:00:54
 - hostname: SS3000
 - ソフトウェアバージョン: V1.0
 - SSN: 3.8.0.7(38888)
 - ハードウェアバージョン: SMUTM-704(Std)
 - 現在の管理者: administrator (確認)
 - 当バージョンは最新バージョンです
- Licenses (ライセンス情報):**

| モジュール名 | 有効期限 | ステータス |
|---------------------|---------------------|-------|
| アンチウイルス(10330038) | 2018/12/13 14:33:45 | 有効 |
| 侵入防御システム(IPS)(2821) | 2018/12/13 14:33:48 | 有効 |
| URLフィルタリング(305530) | 2018/12/13 14:33:49 | 有効 |
| アンチスパム | 2018/12/13 14:33:52 | 有効 |
- System Resources (システムリソース):**
 - メモリー使用率: 62%
 - CPU使用率: 48%
 - ディスク使用率: 48%
- Device Operation (デバイス操作):**
 - Network ports: WAN, LAN1, LAN2, LAN3, LAN4, LAN5, LAN6, LAN7, LAN8, LAN9, LAN10, HUB
- CLI Console (CLIコンソール):**
 - Terminal window showing a prompt: #
- Logs and Content Statistics (ログと内容統計):**

| 内容アーカイブ | アクセス回数 |
|--------------|--|
| HTTP | 0 |
| メール | 送信メール: 0 受信メール: 0 |
| FTP | 0 |
| アップロードしたファイル | 0 |
| ダウンロードしたファイル | 0 |
| NSN | 0 |
| ログ | アンチウイルス: 検知したウイルス: 0 IPS: 検知した攻撃: 0 |

5. 管理設定画面について

5.1. 画面上部のメニューについて

The screenshot displays the management interface for the SS3000 device. At the top, a navigation menu is highlighted with a red box and labeled '画面上部メニュー'. The menu items are: ウィザード, 設定保存, エクスポート設定, ログエクスポート, ヘルプ, 背景色, 言語設定, 再起動, and ログアウト. Below the menu, the interface is divided into several sections: System Management (left sidebar), System Information (top main area), License Information (middle main area), System Resources (bottom main area), and Logs and Content Statistics (right main area).

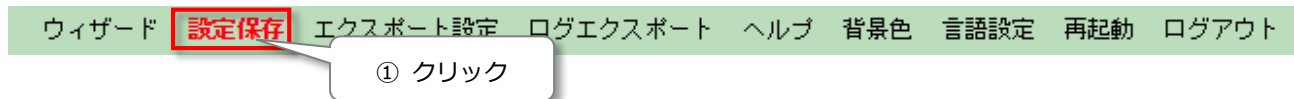
| メニュー | 説明 |
|----------|---|
| ウィザード | ウィザード設定を開始します。 ウィザード設定を開始することで、ネットワークの設定等を簡単に行うことができます。ウィザード完了後、セキュリティの設定等が自動で行われます。 |
| 設定保存 | 設定データを本装置のメモリーに保存します。 ※設定変更した内容を、再起動後も使用される場合は、設定保存が必要です。 |
| エクスポート設定 | 設定ファイルを本装置から PC に保存します。 |
| ログエクスポート | ログを本装置から PC に保存します。 |
| ヘルプ | ヘルプ画面を表示します。 |
| 背景色 | 背景色を変更できます。 |
| 言語設定 | 管理設定画面の表示言語を変更できます。 |
| 再起動 | 本装置を再起動します。 |
| ログアウト | 管理設定画面からログアウトします。 |

5.1.1. 設定データを保存するには

設定データを本装置のメモリーに保存することができます。

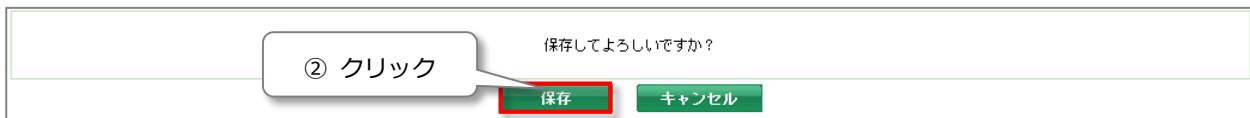
設定変更後、保存されていない設定は、装置の再起動や電源の入れ直しにより、設定変更前の値に戻ってしまうため、ご注意ください。

- ① 設定画面上部のメニューから【設定保存】をクリックします。



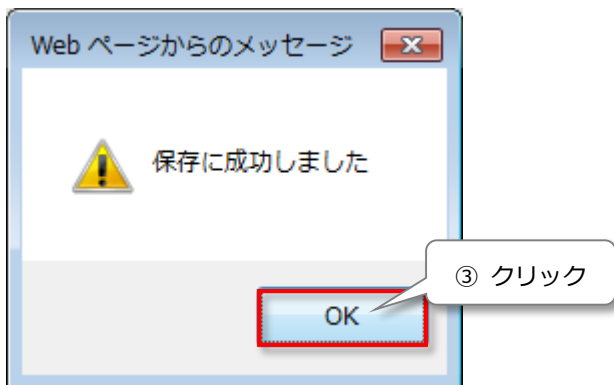
※ 設定変更後、保存されていない設定がある場合、設定画面上部の【設定保存】は赤色に変化します。

- ② 以下の画面に切り替わりますので **保存** ボタンをクリックします。

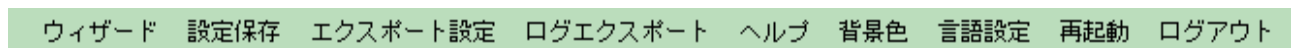


- ③ 設定データの保存が完了すると以下のメッセージが表示されます。

OK ボタンをクリックします。



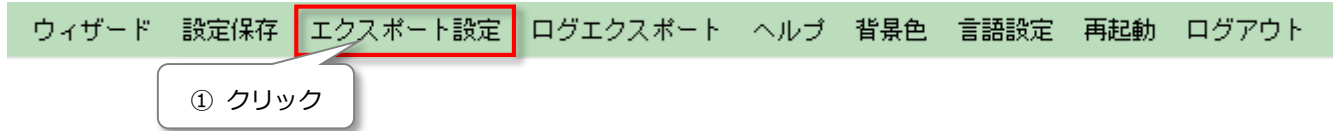
- ④ 設定データの保存が完了すると設定画面上部の【設定保存】は黒色に戻ります。



5.1.2. 設定データをエクスポートするには

設定ファイルを本装置から PC に保存することができます。

- ① 設定画面上部のメニューから【エクスポート設定】をクリックします。



- ② バックアップファイルが作成されると以下の画面に切り替わりますので **ダウンロード** ボタンをクリックし、ファイルを保存してください。

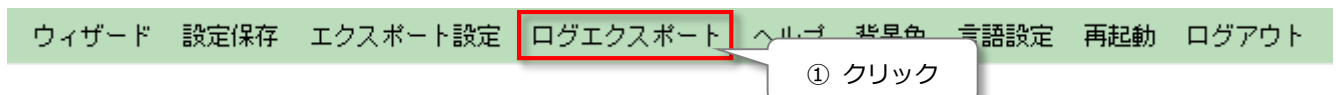


※ 保存時のファイル名は、“fwconfig”です。（名前を変更して保存することもできます）

5.1.3. ログデータをエクスポートするには

本装置内部に蓄積しているログデータを、PC に保存することができます。

- ① 設定画面上部のメニューから【ログエクスポート】をクリックし、ファイルを保存してください。



※ 保存時のファイル名は、“fw_log.csv”です。（名前を変更して保存することもできます）

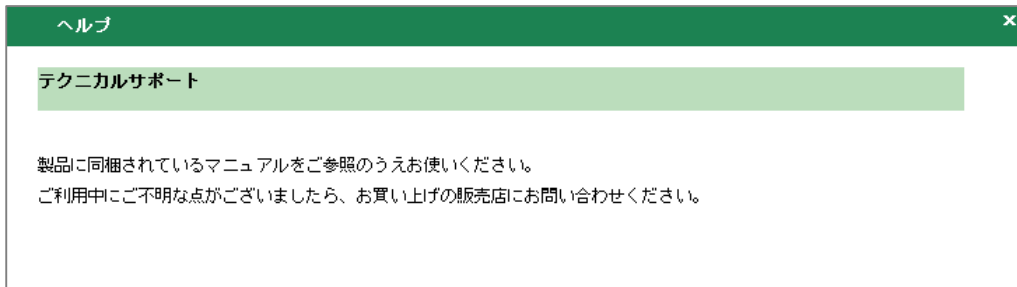
5.1.4. ヘルプを確認するには

- ① 設定画面上部のメニューから【ヘルプ】をクリックします。

ウィザード 設定保存 エクスポート設定 ログエクスポート **ヘルプ** 背景色 言語設定 再起動 ログアウト

① クリック

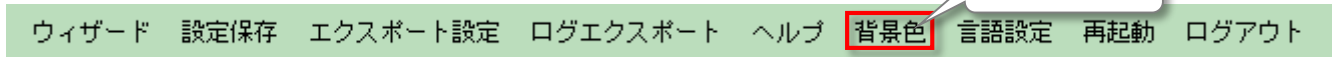
- ② ヘルプが表示されます。



5.1.5. 管理設定画面の背景色を変えるには

管理設定画面の背景色を、4種類から選択（初期値：緑）することができます。

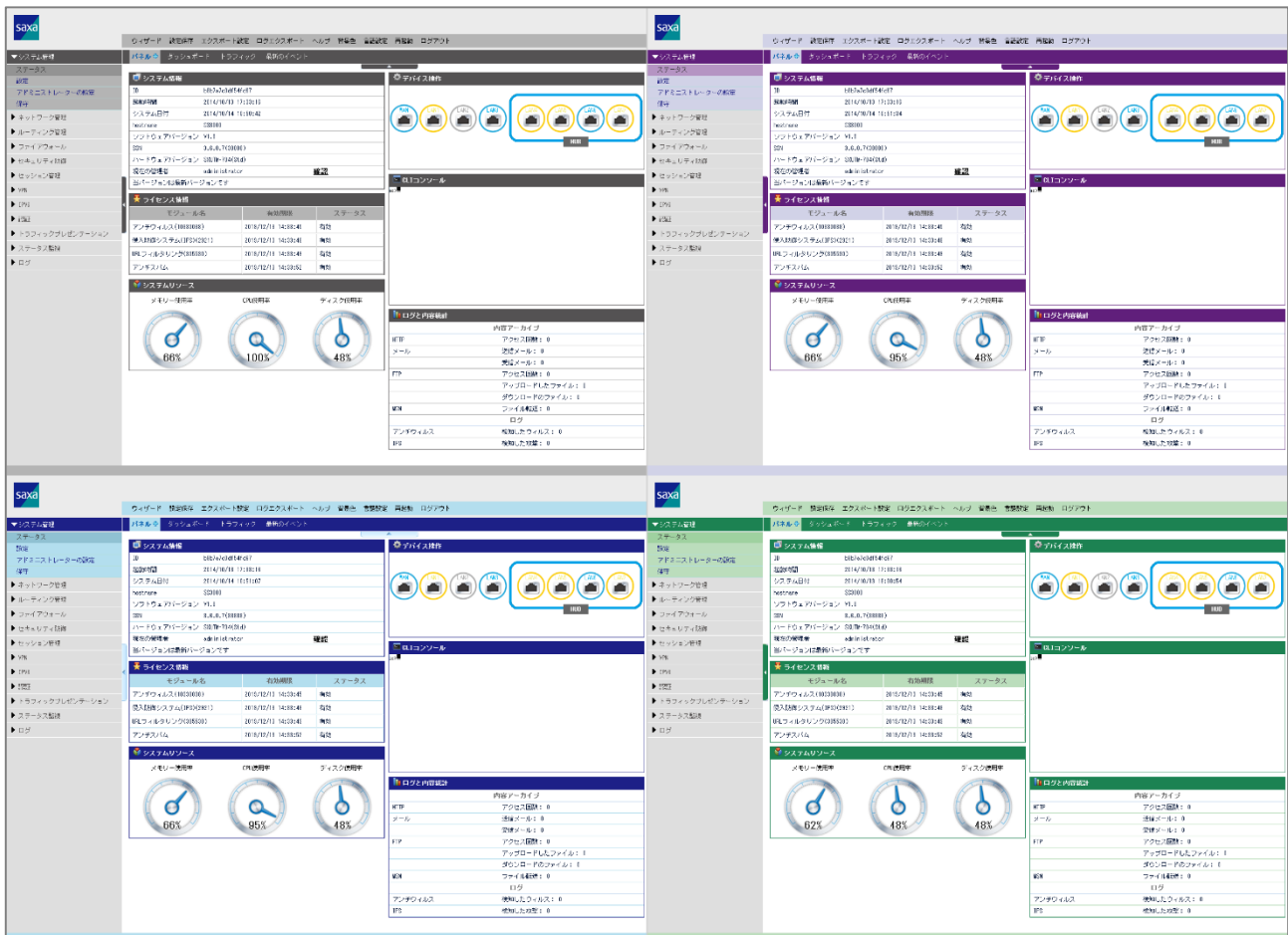
① 画面上部のメニューから【背景色】をクリックします。



② 「スキン選択」のウィンドウが表示されますので、変更したい背景色を選択します。



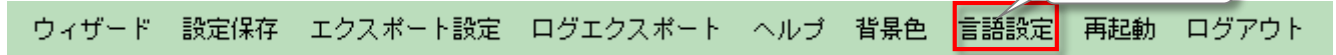
③ 設定画面の背景が、選択した背景色に切り替わります。



5.1.6. 表示言語を変えるには

表示言語を、2 種類から選択することができます。

- ① 画面上部のメニューから【言語設定】をクリックします。



- ② 「言語設定」のウィンドウが表示されますので、変更したい言語を選択します。



- ③ 設定画面の表示言語が、選択した言語に切り替わります。(例：EN を選択)

The screenshot shows the web interface with the language set to English. The top navigation bar includes: Guide, Save config, Export configuration, Export log, Help, Skin clour, Language setting, Restart, Log out.

The left sidebar shows a menu with categories like System, Configuration, Administrator, Maintenance, Network, Route, Firewall, Security Protection, Session, VPN, IPv6, Unified Auth, Flow Count, State Monitor, and Log&Report.

The main content area is divided into several sections:

- System information:**
 - Serial number: b8b7a7c0df54fd87
 - System startup time: 2014/10/13 17:33:16
 - System datetime: 2014/10/14 10:55:23
 - Host name: SS3000
 - Software version: V1.0
 - SSN: 3.6.0.7(38888)
 - Hardware version: S30TM-704(Std)
 - Current administrator: administrator [show](#)
 - The current version is the latest version.
- License information:**

| Module Name | Deadline | State |
|---------------------|---------------------|---------|
| AntiVirus(10330038) | 2019/12/13 14:33:45 | Enabled |
| IPS(2921) | 2019/12/13 14:33:48 | Enabled |
| URL(305530) | 2019/12/13 14:33:49 | Enabled |
| AntiSpam | 2019/12/13 14:33:52 | Enabled |
- System resource:**
 - Memory utilization: 64%
 - CPU utilization: 51%
 - Disk utilization: 48%
- Device operation:**
 - Network diagram showing WAN, LAN1, LAN2, LAN3, LAN4, LAN5, LAN6, LAN7, and HUB.
- CLI console:**

```

no

```
- Log and content statistics:**

| | Content archive |
|------------|--------------------|
| HTTP | visit times 0 |
| Mail | send mail 0 |
| | receive mail 0 |
| FTP | visit times 0 |
| | upload file 0 |
| | download file 0 |
| MSN | transferred file 0 |
| | Log |
| Anti virus | captured virus 0 |
| IPS | detected attacks 0 |

5.1.7. 装置を再起動するには

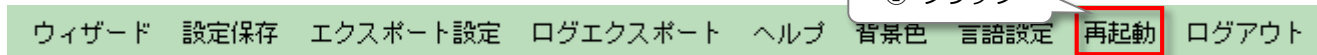
本装置を再起動させることができます。

※ 保存されていない設定データは、設定前の値に戻ってしまうため、ご注意ください。

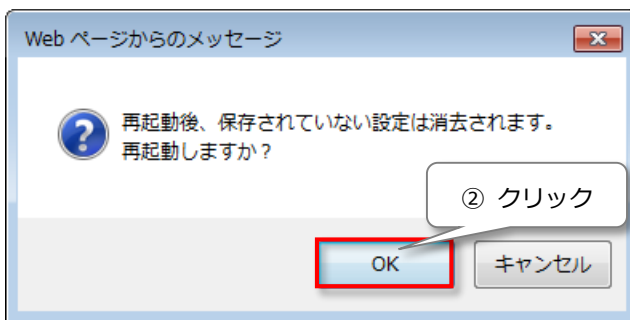
※ 再起動にかかる時間は、設定されているデータにより、数分程度かかります。

本装置本体前面パネルの、STATUS ランプと INFO ランプが、点灯するまでお待ちください。

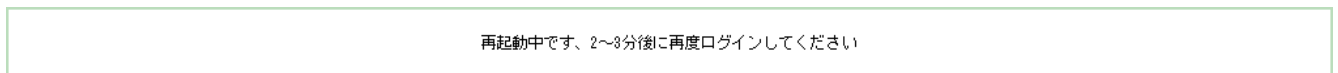
① 設定画面上部のメニューから【再起動】をクリックします。



② 以下のメッセージが表示されますので ボタンをクリックします。



③ 以下の画面に切り替わります。



ワンポイント

- 起動が完了すると、本体前面パネルの、INFO ランプと STATUS ランプが点灯します。
- 再起動後、再度設定画面にアクセスする場合は、再度ブラウザを立ち上げアクセスしてください。

5.1.8. ログアウトするには

管理画面からログアウトすることができます。

- ① 設定画面上部のメニューから【ログアウト】をクリックします。

ウィザード 設定保存 エクスポート設定 ログエクスポート ヘルプ 背景色 言語設定 再起動 **ログアウト**

① クリック

- ② ログイン画面が表示されます。



ログイン

アカウント: administrator

パスワード:

検証番号: 1476 [新しい検証番号を表示](#)

ログイン 閉じる

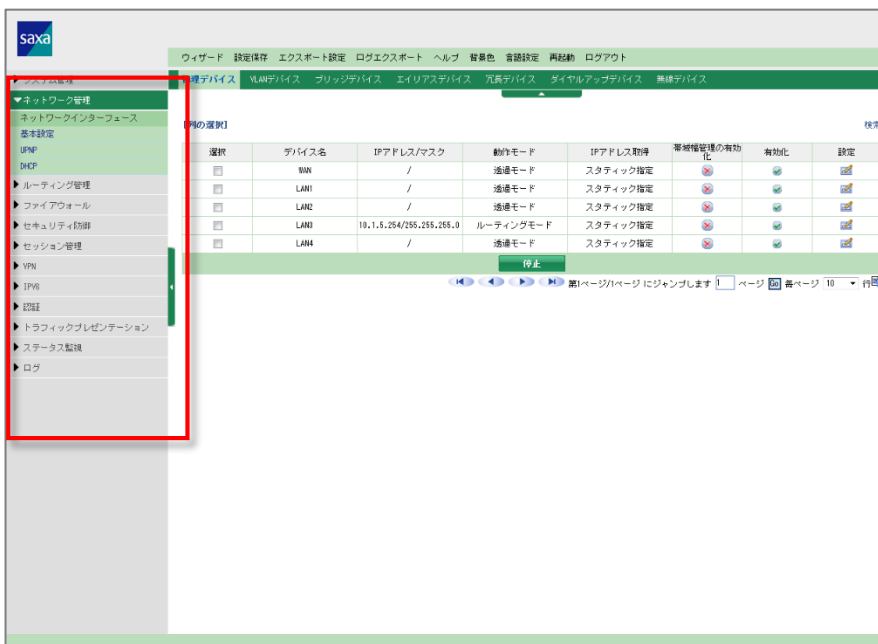
6. 管理設定画面の操作について

管理設定画面から各種操作を行うにあたって、基本的な操作や画面構成について説明します。

6.1. メニュー構成

管理設定画面のメニューの基本構成は以下の通りです。

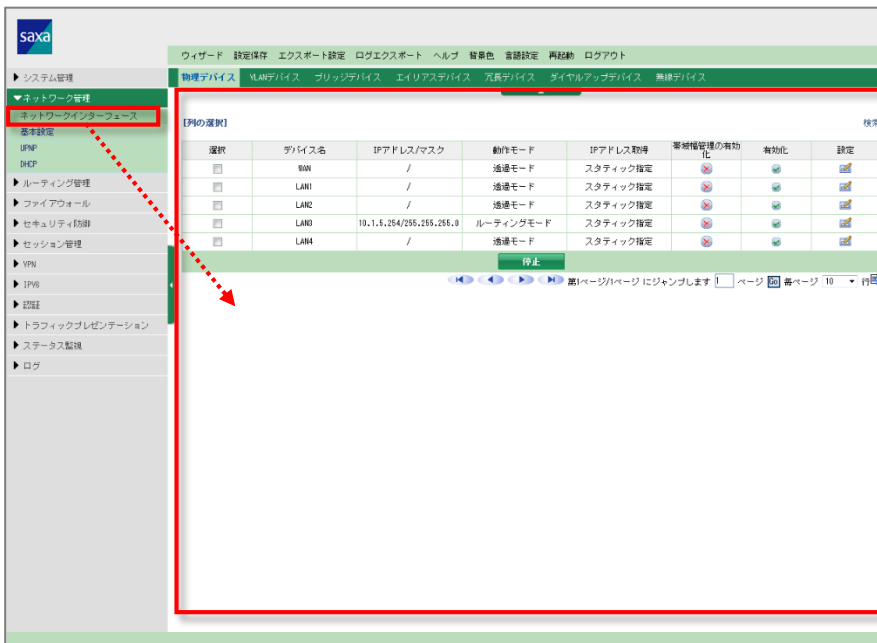
- ① 画面左のメニューバーから、各設定画面へ移動することができます。



- ② 左のメニューバーで、▶をクリックすることで詳細メニューが表示されます。



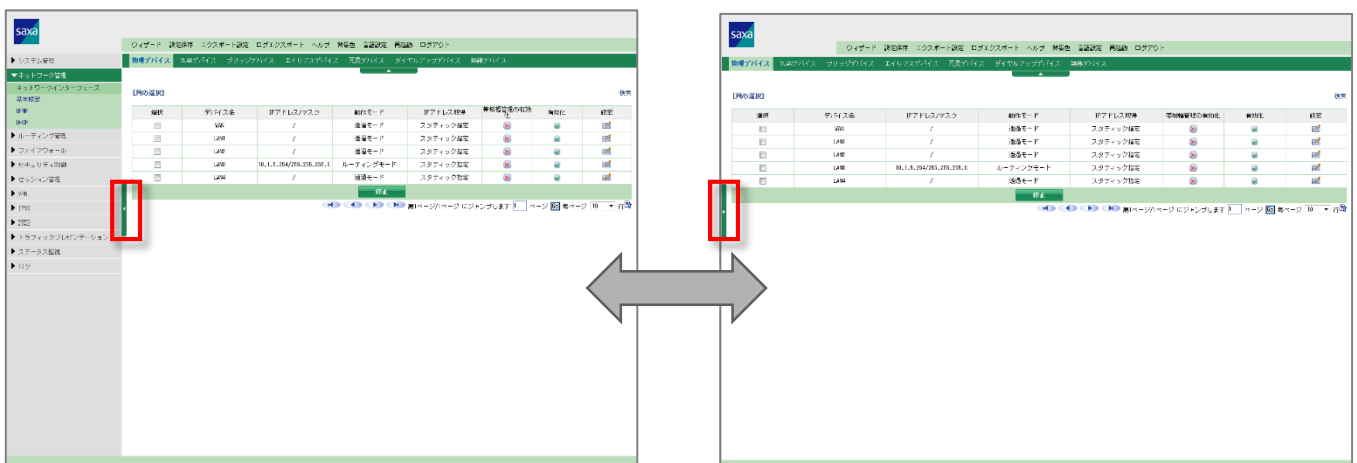
③ メニューをクリックすることで、設定画面が表示されます。



6.2. 左のメニューバーについて

左のメニューバーの境界線に表示されている（◀）アイコンをクリックすることにより、バーを閉じることができます。

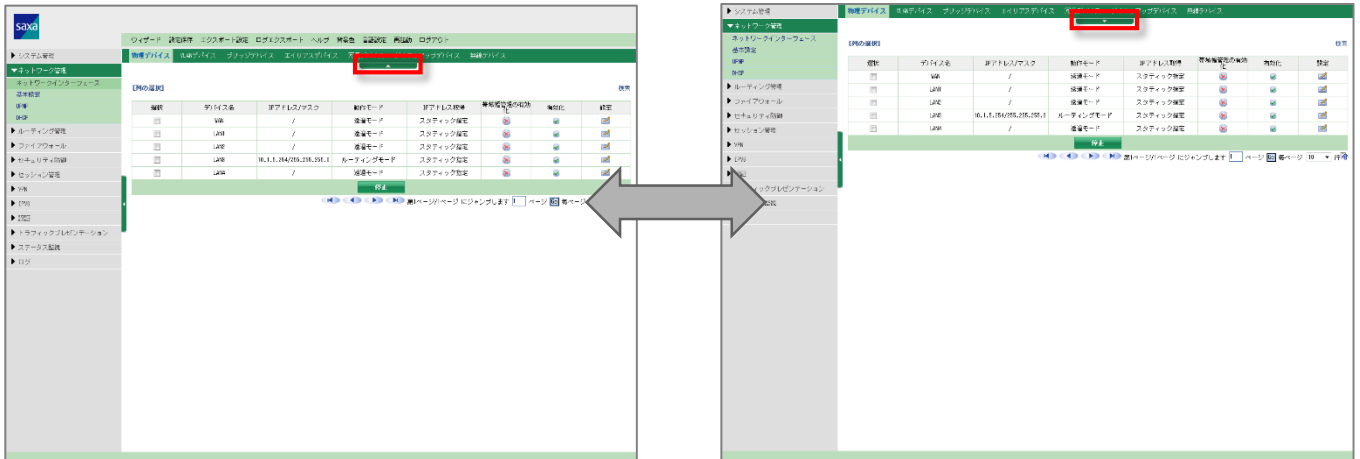
再度バーを開く場合は、画面左の（▶）アイコンをクリックして下さい。



6.3. 上のメニューバーについて

上のメニューバーの境界線に表示されている（△）アイコンをクリックすることにより、バーを閉じることができます。

再度バーを開く場合は、画面上の（▽）アイコンをクリックして下さい。



6.4. アイコンについて

| アイコン | 説明 |
|------|--|
| | [編集アイコン] クリックすると、この設定の編集を行います。 |
| | [複製アイコン] クリックすると、この設定の複製を作成します。 |
| | [移動アイコン] クリックすると、この設定の優先順位を変更します。 |
| | [削除アイコン] クリックすると、この設定を削除します。 ※他の設定項目で使用中的数据は削除できません。 |
| | [有効アイコン] この設定が有効状態であることを表します。 クリックすると、この設定を無効に変更します。 |
| | [無効アイコン] この設定が無効状態であることを表します。 クリックすると、この設定を有効に変更します。 |

6.5. 設定画面内の操作について

設定画面によっては、以下のようなリストの設定を行う画面があります。

例) ◆ 「セキュリティ防御 > プロトコル制御 > プロトコル制御設定 > HTTP」

左に選択可能な設定項目のリスト、右に選択済みの設定項目のリストが表示されます。

- ・ 項目をリストに追加したい場合、左のリストから追加したい項目をクリックし、右向き矢印をクリックします。
- ・ 選択済みの項目をリストから削除したい場合、右のリストから削除したい項目をクリックし、左向き矢印をクリックします。
- ・ 複数項目を選択し、まとめて追加・削除を行うことができます。




7. システムの状態を確認するには








本装置本体のインターフェースの接続状態や、リソースの状態などを確認することができます。

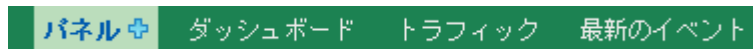
- ◆メニューリストから「システム管理 > ステータス > パネル」画面を開きます。

The screenshot displays the 'System Management' section of the SS3000 web interface. The 'Status' menu is selected, leading to the 'Dashboard' view. The main content area is divided into several sections:

- システム情報 (System Information):** A table showing details such as ID (b8b7a7c0df54fd67), start time (2014/10/13 17:33:16), system date (2014/10/13 18:00:54), hostname (SS3000), software version (V1.0), SSN (3.6.0.7(38888)), hardware version (SXUTM-704(Std)), and current administrator (administrator). A '確認' (Check) button is present.
- ライセンス情報 (License Information):** A table with columns for module name, validity period, and status. Modules include Antivirus (10330038), IPS (2921), URL Filtering (305530), and Antispam, all with '有効' (Valid) status.
- システムリソース (System Resources):** Three gauges showing usage rates: Memory (62%), CPU (48%), and Disk (48%).
- デバイス操作 (Device Operation):** A diagram showing network ports (WAN, LAN1, LAN2, LAN3, LAN4) and their connection status. LAN1-4 are highlighted in yellow, indicating they are active but not connected.
- ログと内容統計 (Log and Content Statistics):** A table showing statistics for various services like HTTP, Mail, FTP, MSN, Antivirus, and IPS.

| 表示項目 | 設定内容／備考 |
|-----------|--|
| システム情報 | 起動時間やソフトウェア情報などを確認することができます。 |
| ライセンス情報 | ライセンスの有効期限などを確認することができます。 |
| システムリソース | メモリー、CPU、ディスクの使用率を確認することができます。 |
| デバイス操作 |  LAN/WAN ポートの接続状況を確認することができます。 青色：状態が有効なインターフェースです。（LAN ケーブルが接続済）  黄色：状態が有効なインターフェースです。（LAN ケーブルが未接続） 灰色：状態が無効なインターフェースです。  |
| CLI コンソール | CLI コマンドを実行することができます。 |
| ログと内容統計 | ログと統計情報を確認することができます。 |

- ※ 表示項目左上のアイコン (     ) をクリックすることで、表示項目の表示/最小化を切り替えることができます。
- ※ 各表示項目のタイトルバーにカーソルを合わせると表示される、右上のアイコンをクリックすることで、表示項目の更新 (再表示) や、非表示への切り替えを行うことができます。
- ※ 非表示とした項目を元に戻す場合や、デフォルトの表示に戻す場合は、画面上部のメニューの追加アイコン () をクリックしてください。



以下の画面が表示されますので、元に戻す項目を選択してください。



- ※ システム情報内の確認をクリックすることで、現在のログイン状況を確認することができます。

| アドミニストレーターアカウント | ログインタイプ | ログインIP | ログイン時間 |
|-----------------|---------|---------------|------------------|
| administrator | web | 10.1.5.200 | 2014-07-22 19:18 |
| user | web | 192.168.1.101 | 2014-07-22 19:55 |

8. 日付・時刻を設定するには

本装置本体の日付・時刻を、手動設定、または、インターネット上の NTP サーバーを使用して、自動で設定を行うことができます。

- ◆メニューリストから「システム管理 > 設定 > 日付時間」画面を開きます。

日付時間設定

タイムゾーン設定

タイムゾーン

日付時間

時間同期

内部時計 2014/11/13 15:40:36
ホスト時間 2014/11/13 15:40:35

手動設定

年 月 日
 時 分 秒

NTPサーバーに同期する

時刻同期を有効化する

NTPサーバーアドレス

ドメイン名設定 (ドメイン名設定の範囲は64文字までです)

同期間隔 (1-65535分)

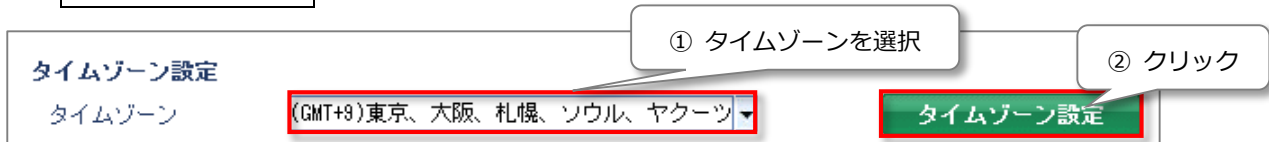
8.1. タイムゾーンを設定する場合

本装置を設置する地域のタイムゾーンを設定します。

タイムゾーンが正しく設定されていない場合は、日付・時刻が正しく表示されません。

(初期値は“GMT+9 東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツ”です。)

- ① “タイムゾーン”を選択します。
- ② **タイムゾーン設定** ボタンをクリックします。

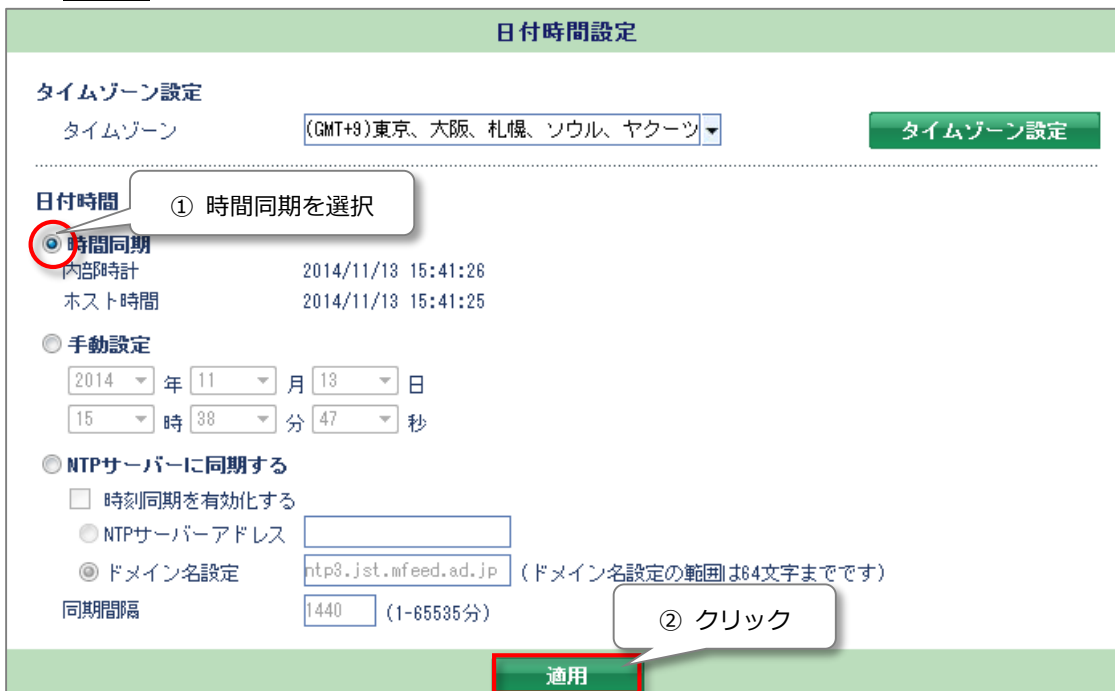


8.2. 日付・時刻をホスト PC と同期させる場合

ホスト PC と時刻を同期させることができます。

設定画面にアクセスしている PC (ホスト時間) の日付・時刻を、本装置 (内部時計) に設定する (同期させる) ことができます。

- ① “時間同期”を選択します。
- ② **適用** ボタンをクリックします。



8.3. 手動で日付・時刻を設定する場合

本装置本体の日付・時刻を、手動で設定します。

- ① “手動設定”を選択します。
- ② 変更したい年月日、時分秒を選択します。
- ③ 適用 ボタンをクリックします。

日付時間設定

タイムゾーン設定

タイムゾーン (GMT+9)東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツ タイムゾーン設定

日付時間

時間同期
内部時刻 2014/11/13 15:42:19
ホス /13 15:42:18

手動設定 ① 手動設定を選択

2014 年 11 月 13 日
15 時 38 分 47 秒 ② 年月日、時分秒を設定

NTPサーバーに同期する

時刻同期を有効化する

NTPサーバーアドレス

ドメイン名設定 (ドメイン名設定の範囲は64文字までです)

同期間隔 (1-65535分) ③ クリック

適用

8.4. クロックサーバー（NTP）を使用して自動で日付・時刻を設定する場合

クロックサーバーと同期を取ることで、日付時刻を常に正しい状態に保つことができます。

- ① “NTPサーバーに同期する”を選択します。
※ 自動的に「時刻同期を有効化する」にチェックが入ります。
- ② 同期を行うクロックサーバーを設定します。
※ IP アドレス形式で設定する場合は「NTP サーバーアドレス」を、ドメイン形式で設定する場合は「ドメイン名設定」に入力します。
- ③ 「同期間隔」に、クロックサーバーと同期を行う間隔を設定します。
※ 初期値は 1440 分（24 時間）となっています。
- ④ 適用 ボタンをクリックします。

日付時間設定

タイムゾーン設定
タイムゾーン (GMT+9)東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツ タイムゾーン設定

日付時間

時間同期
内部時計 2014/11/13 15:40:36
ホスト時間 2014/11/13 15:40:35

手動設定

2014/11/13 15:40:36

NTPサーバーに同期する

時刻同期を有効化する

NTPサーバーアドレス

ドメイン名設定 ntp3.jst.mfeed.ad.jp (ドメイン名設定の範囲は64文字までです)

同期間隔 1440 (1-65535分)

適用

ワンポイント

- クロックサーバーと同期する場合は、事前に本装置本体の日付・時刻を現在時刻と合わせてから設定してください。
- クロックサーバーとの時間差が大きい場合、正しく同期が実行されない場合があります。

設定完了後は必ず設定データの保存を行ってください。

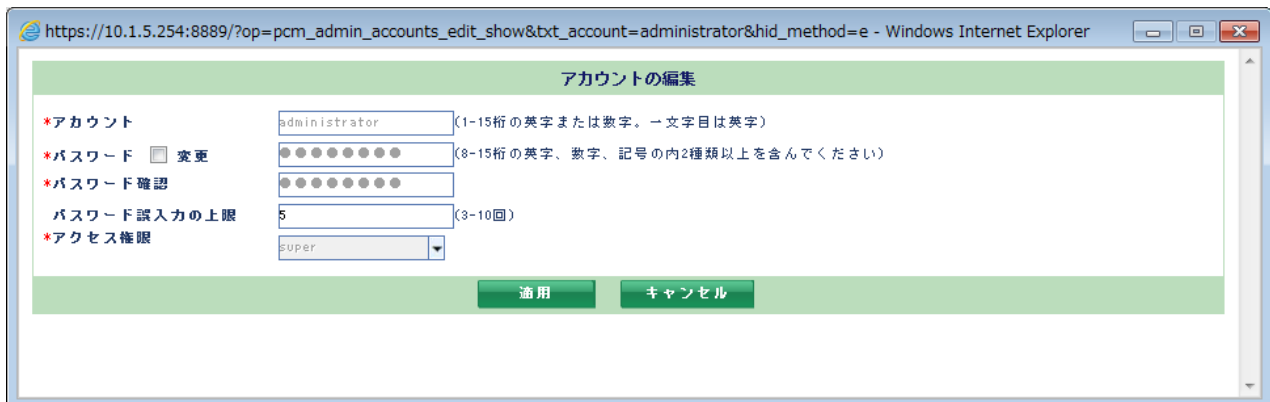
9. 管理者ユーザーのパスワードを変更するには

◆メニューリストから「システム管理 > アドミニストレーターの設定 > アドミニストレーターアカウント」画面を開きます。

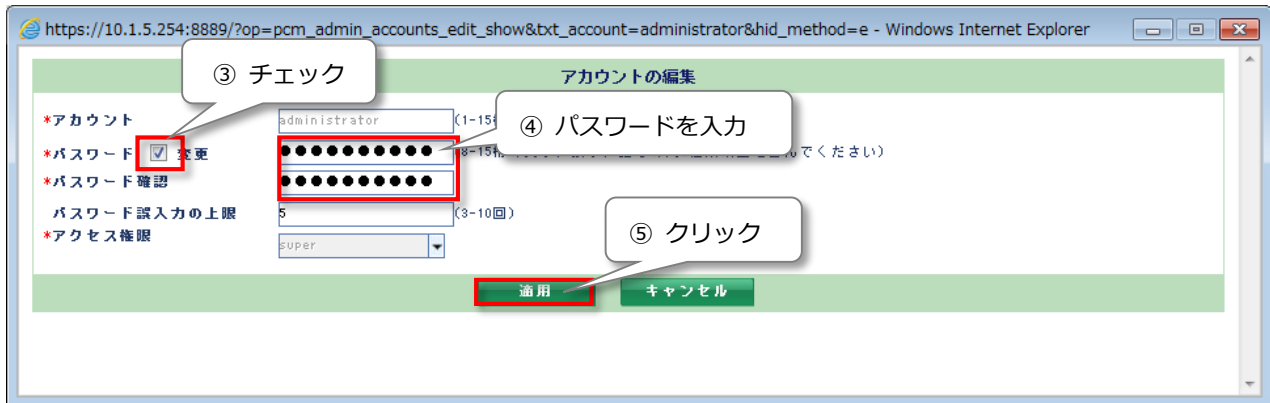
① 編集アイコン () をクリックします。



② 「アカウントの編集」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「パスワードの変更」にチェックを入れます。
- ④ 変更後のパスワード（パスワード確認）を入力します。
- ⑤ **適用** ボタンをクリックします。



設定完了後は必ず設定データの保存を行ってください。

10. 設定データのバックアップ／リストアを行うには

システム設定ファイルのバックアップ／リストアを行うことができます。

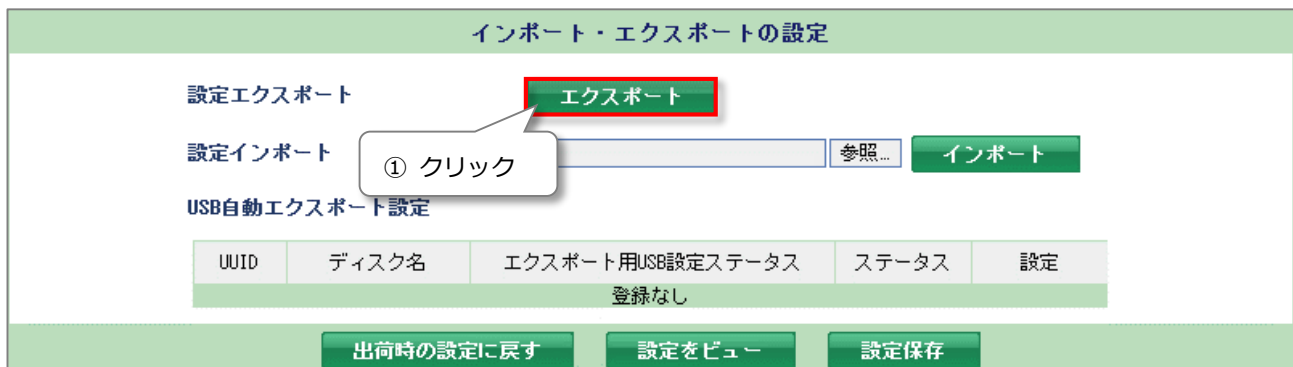
10.1. 設定データのバックアップ（エクスポート）

本装置の IP アドレスやセキュリティに関する各種の設定情報（設定データ）は、本装置の内部で設定ファイルとして管理されています。この設定ファイルをローカル PC 上にバックアップ（エクスポート）することができます。

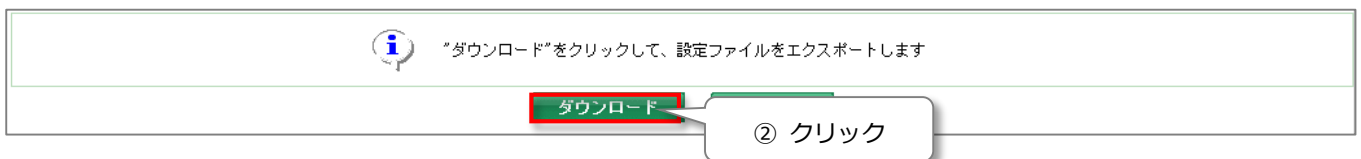
（ライセンス情報やログは、バックアップ／リストアの対象外です。）

◆メニューリストから「システム管理 > 保守 > インポート／エクスポート」画面を開きます。

① **エクスポート** ボタンをクリックします。



② バックアップファイルが作成されると、以下の画面に切り替わります。
ダウンロード ボタンをクリックして、ファイルを保存してください。



※ 保存時のファイル名、“fwconfig”です。（名前を変更して保存することもできます）

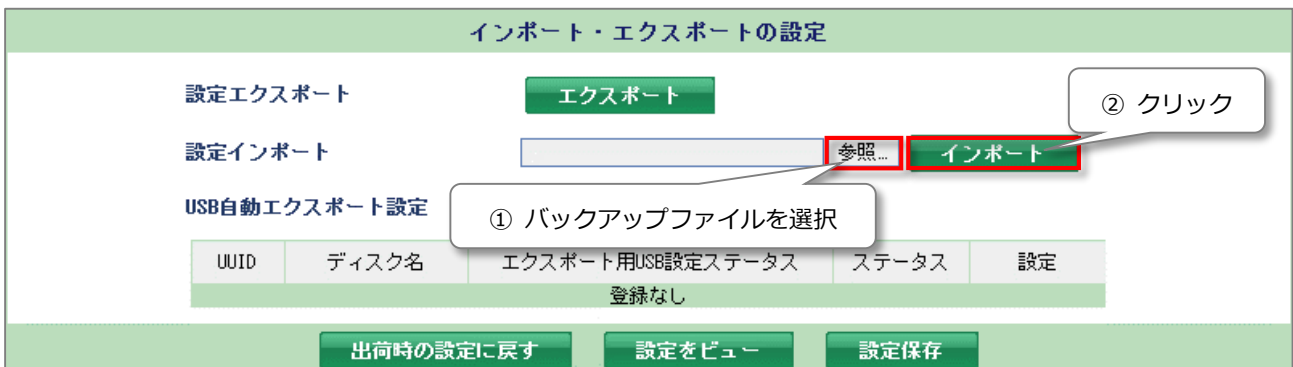
10.2. 設定データのリストア（インポート）

ローカル PC 上のバックアップファイルを、リストア（インポート）することができます。

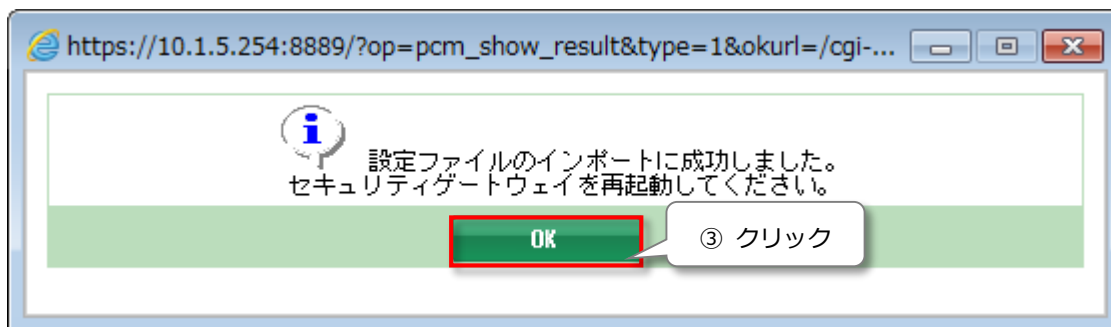
◆メニューリストから「システム管理 > 保守 > インポート/エクスポート」画面を開きます。

① **参照** ボタンをクリックし、インポートを行うバックアップファイルを選択します。

② **インポート** ボタンをクリックします。



③ 下記ウィンドウが表示されますので **OK** ボタンをクリックします。



④ 設定データのリストアを完了するために本装置の再起動を実施してください。

11. システム設定ファイルを初期化する場合

システム設定ファイルを初期化し、工場出荷時の状態に戻すことができます。

ご注意

- 実行した直後にすべての通信は切断されます。
- 初期化が完了した後に、設定内容を元の状態に戻すことはできません。
- メンテナンス用ポート（LAN3）の IP アドレスは初期値の 10.1.5.254/24 に戻ります。
- メンテナンス用ポート以外のポートは、使用できなくなりますのでご注意ください。

初期化手順は、2 通りあります。

11.1. 管理設定画面から行う場合

本装置の設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合は、管理設定画面で設定を初期化することができます。

◆メニューリストから「システム管理 > 保守 > インポート/エクスポート」画面を開きます。

① 出荷時の設定に戻す ボタンをクリックします。

インポート・エクスポートの設定

設定エクスポート エクスポート

設定インポート 参照... インポート

USB自動エクスポート設定

| UUID | ディスク名 | エクスポート用USB設定ステータス | ステータス | 設定 |
|------|-------|-------------------|-------|----|
| | | | | |

① クリック

出荷時の設定に戻す 設定をビュー 設定保存

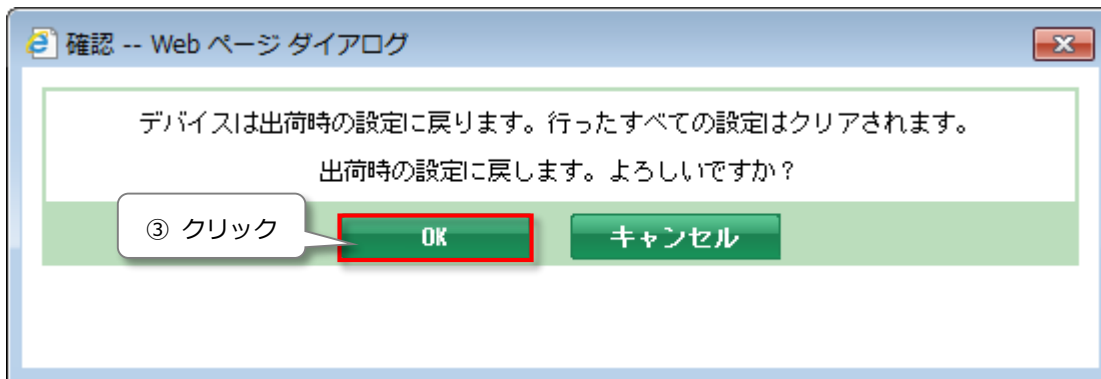
- ② 以下の画面に切り替わりますので **出荷時の設定に戻す** ボタンをクリックします。

*****注意してください：出荷時の設定に戻った後、以前の設定はクリアされます。出荷時の設定に戻す前に、設定をエクスポートすることをお勧めします。*****

出荷時の設定に戻す

② クリック

- ③ 下記ウィンドウが表示されますので **OK** ボタンをクリックします。



- ④ 以下の画面に切り替わり再起動が実行されます。

再起動中です、2～3分後に再度ログインしてください

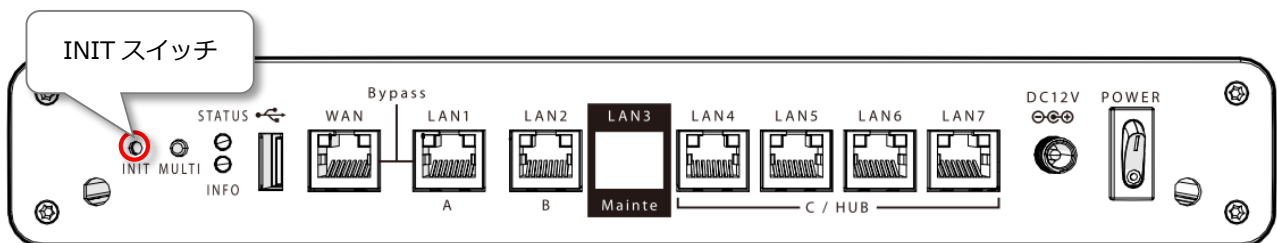
以上で初期化は完了です。

本装置の設定がすべて工場出荷時の状態に戻ります。

11.2. INIT スイッチを使用する場合

IP アドレスを誤って設定した場合や、設定されている IP アドレスを忘れてしまった場合など、管理設定画面から初期化できない場合は、本装置背面の INIT スイッチを使用して初期化を行うことができます。

- ① 本装置本体の電源を切ります。
- ② 本装置本体の電源を入れます。
- ③ 約 1 分間経過後、STATUS ランプが 10 秒間点滅（遅）しますので、その間に INIT スイッチを押し続けます。



※ INIT スイッチは小さい穴の内部にありますので、細い棒状の物（ボールペンの先など）を、お使いください。

- ④ 1 回ビーブ音（"ピッ"）が鳴りましたら、INIT スイッチから手を離します。
- ⑤ 前面パネルの STATUS ランプと INFO ランプが点灯しましたら起動完了となります。

以上で初期化は完了です。

本装置の設定がすべて工場出荷時の状態に戻ります。

12. ウィルスを検知した時のメッセージを変更するには

ウィルスを検知（駆除）した時に表示されるメッセージを変更します。

◆メニューリストから「セキュリティ防御 > アンチウイルス > ウィルス提示インフォメーション」画面を開きます。

| ID | 名称 | 備考 | 設定 |
|----|-----------------|--------------------|----|
| 1 | ウィルス遮断インフォメーション | ウィルス遮断メッセージの内容変更 | |
| 2 | ウィルス遮断画面 | ウィルス遮断後html画面の内容変更 | |

12.1. メール受信時やFTP通信中のメッセージを変更する場合

① ウィルス遮断インフォメーションの編集アイコン（）をクリックします。

| ID | 名称 | 備考 | 設定 |
|----|-----------------|--------------------|----|
| 1 | ウィルス遮断インフォメーション | ウィルス遮断メッセージの内容変更 | |
| 2 | ウィルス遮断画面 | ウィルス遮断後html画面の内容変更 | |

② 「ウィルス遮断インフォメーション」ウィンドウが表示されます。

③ 「内容」の変更を行います。

④ **適用** ボタンをクリックします。

ウィルス遮断インフォメーション

<< SS3000 >> The file "%%FILE%%" has been removed be a virus. It was infected with the "%%VIRUS%%" virus

実際に表示されるメッセージです

内容

<< SS3000 >> The file "%%FILE%%" has been removed be a virus. It was infected with the "%%VIRUS%%" virus

③ メッセージの内容を変更

デフォルト内容 適用 キャンセル


④ クリック



ワンポイント

- 以下のキーワードを記述することにより、ウイルス遮断内容に応じてメッセージを表示させることができます。
%%FILE%% …… ウイルスが含まれていたファイル名
%%VIRUS%% …… 遮断したウイルス名
- ボタンをクリックすることで、メッセージ内容を初期値に戻すことができます。

設定完了後は必ず設定データの保存を行ってください。

12.2. Web アクセス時に表示されるメッセージを変更する場合

- ① ウィルス遮断画面の編集アイコン () をクリックします。

| ID | 名称 | 備考 | 設定 |
|----|-----------------|--------------------|---|
| 1 | ウィルス遮断インフォメーション | ウィルス遮断メッセージの内容変更 |  |
| 2 | ウィルス遮断画面 | ウィルス遮断後html画面の内容変更 |  |


① クリック

- ② 「ウィルス遮断画面」ウィンドウが表示されます。

- ③ 「内容」の変更を行います。

- ④ 「URL」の変更を行います。

- ⑤ 適用 ボタンをクリックします。



実際に表示されるメッセージです

③ メッセージの内容を変更

④ メッセージの URL を変更

⑤ クリック

ワンポイント

- HTML 形式で設定することができます。
- 以下のキーワードを記述することにより、ウイルス遮断内容に応じてメッセージを表示させることができます。
 - %%FILE%% …… ウイルスが含まれていたファイル名
 - %%VIRUS%% …… 遮断したウイルス名
 - %%URL%% ウイルスが含まれていたURL
- ボタンをクリックすることで、メッセージ内容を初期値に戻すことができます。

設定完了後は必ず設定データの保存を行ってください。

13. スпамメールの件名タグを変更するには

スパムメールと判定されたメールの件名に挿入されるタグ（文字列）を変更することができます。

◆メニューリストから「セキュリティ防御 > アンチスパムメール > 基本設定」画面を開きます。

- ① 「メール件名へのタグ付け」にチェックが入っていることを確認します。（チェックが入っていない場合は、チェックを入れてください）
- ② 「スパムメールタグ」に挿入したいタグを入力します。
- ③ **適用** ボタンをクリックします。

アンチスパムメール設定

基本設定

- クラウドスパムメール検査を有効化
 - プロキシサーバー有効化
 - プロキシサーバー
 - プロキシサーバーポート
 - スパムメール検知有効化のメールサイズ上限 (MB) (範囲:0-15 MB)
- 送受信者統計を有効化
- smtp有効化
- pop有効化
- imap有効化

アドバンストオプション

処理動作

- オープンリレーの禁止
- TCP接続遮断 (スパムメール検知時)
- メール件名へのタグ付け (スパムメール検知時) スпамメールタグ
- ログ送信 (スパムメール検知時)

① チェック

② タグを入力

③ クリック

適用

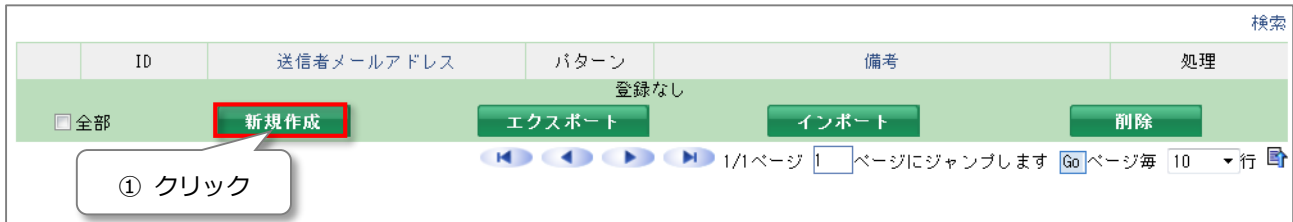
設定完了後は必ず設定データの保存を行ってください。

14. 特定の相手からのメールをスパム判定させないためには

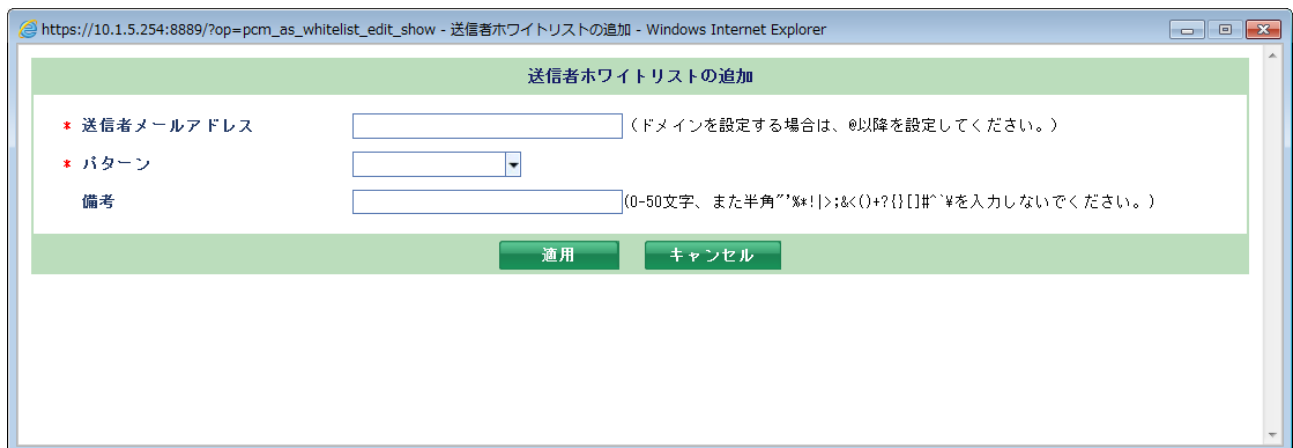
特定の相手からのメールはスパム判定させないための設定です。

◆メニューリストから「セキュリティ防御 > アンチスパムメール > 送信者ホワイトリスト」画面を開きます。

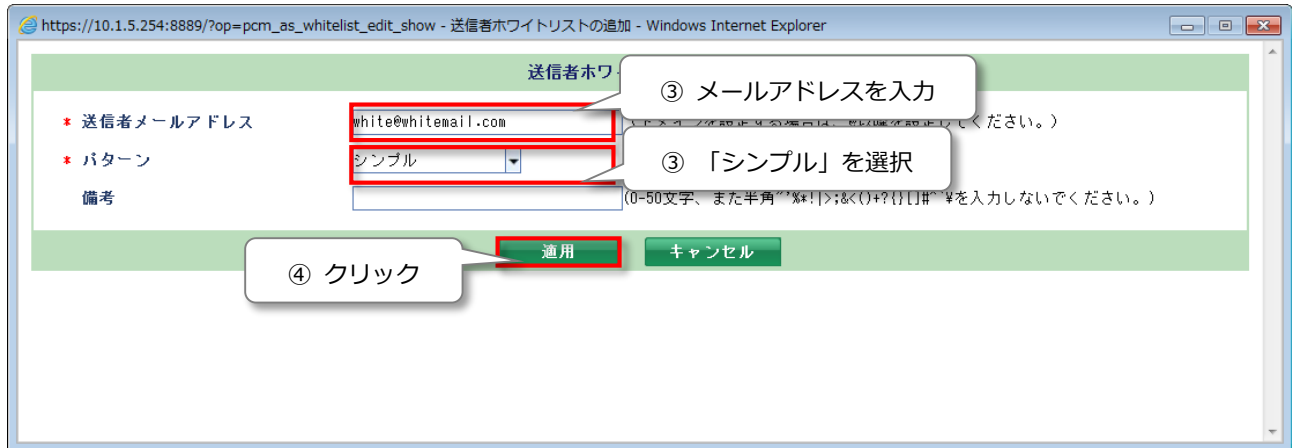
① **新規作成** ボタンをクリックします。



② 「送信者ホワイトリストの追加」ウィンドウが表示されます。



- ③ 「送信者メールアドレス」にスパムメールと判定しない相手のメールアドレスを入力します。
「パターン」でシンプルを選択します。
- ④ **適用** ボタンをクリックします。



ワンポイント

- 設定に一致したメールアドレスからのメールは、アンチスパム処理をスキップ（許可）します。
- メールアドレス形式とドメイン形式（@以降）で登録することができます。

例) user1@xxx.yyy.zzz.co.jp からのメールを許可したい場合

メールアドレス形式 : user1@xxx.yyy.zzz.co.jp

ドメイン形式 : xxx.yyy.zzz.co.jp

(この場合、user2@xxx.yyy.zzz.co.jp も許可されます)

◆メニューリストから「セキュリティ防御 > アンチスパムメール > 基本設定」画面を開きます。

⑤ **アドバンストオプション** ボタンをクリックし、アドバンストオプションを表示します。

⑥ 「送信者ホワイトリスト」にチェックを入れます。

⑦ **適用** ボタンをクリックします。

アンチスパムメール設定

基本設定

- クラウドスパムメール検査を有効化
 - プロキシサーバー有効化
 - プロキシサーバー
 - プロキシサーバーポート
 - スパムメール検知有効化のメールサイズ上限 (MB) (範囲:0-15 MB)
- 送受信者統計を有効化
- smtp有効化
- pop有効化
- imap有効化

アドバンストオプション

- メールサーバーIPアドレスチェック
- メールアドレスチェック
- 件名キーワードチェック
- 本文キーワードチェック
- 添付ファイル名キーワードチェック
- 添付ファイル本文キーワードチェック
- 添付ファイルサイズチェック
- 1つの添付ファイルの上限 (MB)
- すべての添付ファイルの上限 (MB)
- 接続頻度チェック
- メール宛先数制限 (0は無制限)
- 送信者ホワイトリスト

処理動作

- オープンリレーの禁止
- TCP接続遮断 (スパムメール検知時)
- メール件名へのタグ付け (スパムメール検知時) スパムメールタグ
- ログ送信 (スパムメール検知時)

適用

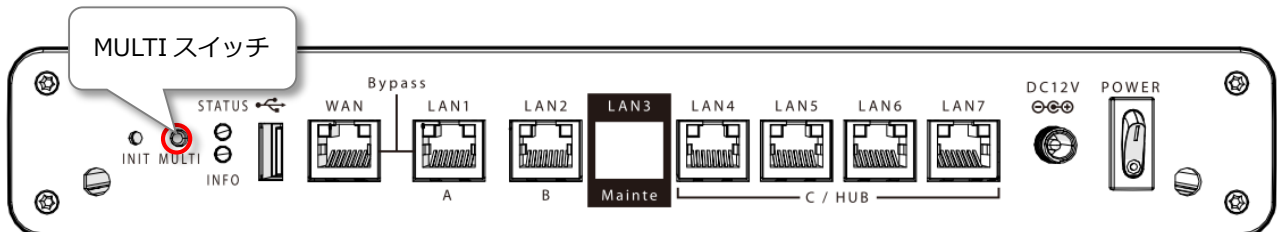
設定完了後は必ず設定データの保存を行ってください。

15. WiFi 自動設定を行うには (Pro モデルのみ)

WPS 機能を持った無線端末を簡単な操作で登録することができます。

本装置はプッシュボタン方式の機能に対応しています。

- ① 電源を入れた状態で、本装置本体背面の MULTI スイッチを 3 秒以上押し続けます。



- ② 3 秒間 MULTI スイッチが押し続けられると、1 回ビープ音 ("ピッ") が鳴ります。
- ③ MULTI スイッチを押し続けた状態で、さらに 3 秒間 MULTI スイッチを押し続けられると、3 回ビープ音 ("ピピピ") が鳴ります。
- ④ 3 回ビープ音が鳴りましたら、MULTI スイッチから手を離します。
- ⑤ 接続する無線端末を WPS プッシュボタン方式で動作させます。
- ⑥ WiFi 自動設定が完了すると、本装置正面／背面の INFO ランプが点灯します。

ワンポイント

- WiFi 自動設定中は INFO ランプが点滅 (遅) します。
- WiFi 自動設定に失敗した場合は、4 回ビープ音 ("ピピピピ") が鳴り、INFO ランプの点滅 (間欠) が 1 分間継続します。
再度①から登録操作を行い、それでも失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

16. 記載されていない項目に関して

本マニュアルに記載されていない項目に関して、変更／追加／削除を行う場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

